

感覚運動遊び「遠くへ飛んで行け」

1 ねらい・目的

- 遊ぶことを目的にすることで自主性をもたせ、身近な材料で簡単に作ることで不器用さの軽減をねらいます。
- 作った教材で遊ぶことで目・手・口などの機能を高めるとともに、感覚統合のループをまわして感覚統合の発達を促します。少しでも異なる手などの体の動かし方を豊かに経験させることで、行為機能（運動企画能力など）の発達を促したいと思います。

2 教材と作り方

(1) ひらひら花びら

ゆっくり落ちていく「ひらひら花びら」は、初期の追視の力をつけます。よりくるくる回るように飛ばし方や作り方を工夫したり、お友達と一緒に回して、その美しさを一緒に楽しんだりすることもできます。色紙4分の1を使って、たてよこ半分の折り目をつけます。斜めに折って羽に切り目を入れると出来上がりです。



(2) とんでけチューブ

「とんでけチューブ」の作り方は簡単ですが、飛ばし方に工夫が要ります。ペットボトルやラミネートをかけた用紙などでも代用ができるので、少しずつ異なる材質の手触り（触覚）を感じ、飛ばし方の工夫をすることで促される運動企画の力などもつきます。



(3) ストロー吹き矢

袋入りストローの袋に一工夫することで、よく飛ぶ吹き矢になります。主に瞬間的に力強く吹く力をつけます。遠くまで飛ばす競争をしたり、的を狙って飛ばしたりするなど、遊びの工夫ができます。複数の友達と遊ぶと楽しいです。ストローの袋なので、より安全です。

(4) 何が出てくるかな？

楽しみながら吹くという口腔機能を高めるものです。特に力強く長く吹き続ける力を高めることになるでしょう。紙コップ、ストロー、ビニール袋で作ります。今回はソフトクリームを作りますが、ビニール袋の形状を変えることで、いろいろな物を作ることができます。



(5) ならってぴょん



洗濯ばさみとわりばしでつくったものです。

洗濯ばさみとわりばしをビニールテープ（輪ゴムも可）で固定します。ペットボトルのふたを両面テープかビニールテープで留めたら出来上がりです。

玉はティッシュを丸めたものを使います。玉を受け止めたり、的の中に入れてたりするなど、一人でもグループでも楽しめます。